



調布市議会議員、大河みとこの議員活動レポートです。市民と市政の架け橋となるべく奮闘中です。是非お読み下さい。

## 元気派市民 大河みとこの市議会レポート

6月議会

# NO.41

2003年 夏号

元気派市民とみとこの会  
〒182-0011

調布市深大寺北町1-31-1

Tel&Fax 0424-88-4137

<http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/>

# みみチャンネル

### 主なニュース

- みとこの議会レポート 個人情報保護があいまいなまま「住基ネット本格稼働」へ・・・P 2
- 議会のあれこれ みとこ所属の委員会・現在の会派・議会改革・・・P 4
- 調布の福祉は今 地域に開かれたふれあいの場・「われもこう」の会を訪問して・・・P 5
- 6月議会・大河みとこの一般質問 安定財政の確保に一層の努力を/ごみ問題に誠意ある取り組みを・P 6-7
- 元気派ひろば 4月選挙の報告・選挙費用・活動を振り返って・・・P 8

## 市民自治本番！

「私たちのまちは、

私たちが決めたい。」

市民が主役のまちづくりを掲げ、無所属・無党派・市民派議員として三期目の市議選に挑みました。議員定数が二名減り、かつてない厳しい戦いでしたが、今まで以上に多くの市民の方のご支持を得ることができ深く感謝しております。同時に、市民代表としてどのように議会活動をするのか、責任の重さも強く感じています。六月議会では、「私たちのまちは、私たちが決め、責任を持って運営していく」という市民自治を目指す立場から、私は住基ネットの本格稼働に對して唯一人反対致しました。市民の意思確認をした上で事業を進めなければ、市長が目指す市民参加型市政は、実現しないのではないのでしょうか。

議会制民主主義が問われている今、「市民に開かれた議会」のための改革、そして自治体の基本である「財政の自立」のための改革に力を尽くしながら、変わらぬ「一歩進めよう、調布のまちづくり」を進めてまいります。皆様の一層のご支援を心からお願ひ申し上げます。



www.ops.dti.ne.jp/genkiha/ 元気派市民の会 公約を守り、確実に歩みを進めます。

市長は公約実現のために、財政の健全化と経営改革を伴った実施計画の見直しを

分権時代といいながら、政府から自治体への財源委譲は牛歩状態です。ただ待っているのではなく、自分のまちの未来を自分で決めるために、自治体は自ら経営改革と、財政の健全化に努めるべきです。新規事業を約束しても、将来を見通した財源の裏付けがなければ空手形となります。そこで今回の一般質問では、十月に出す平成十六年度予算編成方針を作成する前提として、財政健全化計画と経営改革プランを作成し、公約した事業実現に向けて努力するように求めました。また、全市民に直接影響するごみ問題についても質問しました。市民と行政がごみ処理について共通認識を持つて具体的な努力をする大事な時期である今、ごみ処理に対する基本的な考え方があいまいでは混乱するばかりです。市長に対し、明瞭な説明を求めました。六ページの一般質問を是非ご覧下さい。

調布市議会議員 大河みとこ

### 元気派の学習会

調布の福祉を知ろう!

わたしらしさを大切に、高齢者にとって住み良いまちづくりとは。

8月23日(日) 14:00 ~ 16:30

総合福祉センター4階 視聴覚室  
(グリーンホール南隣)

講師: 調布市高齢者福祉担当職員

調布市高齢者総合計画が改定されました(15~19年度)。健康づくりや生活支援など、私たち自身のこれからについて一緒に学び、考え、提案していきましょう。どなたでもお気軽に参加ください。



家で原稿を書く日が続く、なんとなく鏡に映った自分の姿にびっくり。原稿書きは体力勝負と自分を慰めたりしながら、現実と向かい合わないのも問題かな。(みとこ)

## みとこの議会レポート

### 市民の個人情報保護があいまいなまま 「住基ネット本格稼働」に踏み切る！



平成十五年調布市議会  
第二回定例会  
六月十八日～三十日(十三日間)

市民が債務保証している外郭団体は、市民にわかりやすい経営報告を

調布市土地開発公社の残地などの情報公開を

現状では、公社の事業用地明細には取得年月日の記載がない。これを明らかにし、見直す事業はないか等議論すべきと提案してきたが、窓口での閲覧が可能になった。公有地には含み損の問題もあるが、公社が所有している用地の簿価と時価の差額がどうなっているのか、報告書では確認できない。公社の用地が現状価格ではどうか、議会と行政が情報共有するために、何らかの形で参考公示価格を示す等の工夫が必要と質疑し、今後他市の事例も参考に検討と

の答弁を得た。代替地や事業用地の未活用地の有効活用に努めるべきとの質疑には、行革アクションプランにあるように努力するとの答弁を得た。経営の健全化を求める立場から次年度の経営報告を期待したい。

ゆうあい福祉公社の経営状況について

本年度報告で会議内容の掲載が改善された点は評価。市民にわかりやすい財政情報を求めていたが、この点は改善が見られなかった。今後、公社のあり方が検討されていく。公社の基本的な方向性を質疑したところ、市民向け学習会や介護ヘルパー講座等、市民全体の福祉の向上につながる運営や、第三者評価の検証、ISO9000シリーズを取得して市民サービスの質の向上に取り組む方向を確認。ゆうあい福祉公社は他の福祉事業者と異なり、市民への福祉

サービス面のセイフティネットという公共性の高い一面を担っている。その点からも市民が共に考えられるよう、事業内容が把握しやすい報告書の作成が不可欠。現状では資料にばらつきがあり、事業内容の変化が掴みきれない。各事業をもっと積極的に分かりやすく説明するよう要望した。

### 平成十五年度補正予算

起立多数で可決

元気派市民の会・反対



議会事務局の整備、学校整備等市民生活に大切な分野も含まれた補正予算だが、住民基本台帳カードの交付に伴うカード発行手数料の収入が計上されている。市は当初予算で、総務省の住基カードの初年度発行目標2.5%を基準に五千枚の事務費として、一枚当たり一千円を見込み、六百三十六万円余を計上していた。今回の補正予算では、八月の本格稼働に向けて二千枚の発行を想定、一枚五百円、合計百万円の手数料収入を計上している。実際のカード一枚当たりの発行経費は、人件費や施設の減価償却等フルコストで経費を算出すると事務費の二倍かかると

言われている。

住基カードの経費は交付税に算入されるが、不交付団体の調布市に特例交付金で戻ってくる確約はまだない。現状では発行枚数が多くなる程市民負担が増す事業といえる。仮に二十万人が発行申請すると市の財政負担額は億単位となる。住基カードは市外に転出の時は交付した市町村長に返却しなければならぬ。転出転入が多い市にとってこの事業はかなり負担が大きい。

住基カードは住民登録のある市民対象の事業。三千人の外国人市民は納税義務はあっても、その税金で賄われている住基カード発行の対象からは除外される。住基カードに新たな公共サービスを添加した場合、同じ調布市民でありながら、その利用において差別が生まれるのも大きな問題。また、現時点で個人情報の漏洩という危険性を伴う住基カードは、多大な費用と時間をかけて実現すべき市民要望の高い優先課題ではないはず。予算面からも住基カードの発行は市民にとって大きな問題である。重大な問題を含んだ補正予算には反対。

### 調布市住民基本台帳条例

#### 調布市手数料条例の一部を改正する条例

起立多数で可決  
元気派市民の会・反対



【元気派の意見】二つの条例は市民に対し、市は国民総背番号制に繋がる懸念のある住基ネットの本格的稼働を認めた上で、市として住民基本台帳法に基づく事務に対し、市民の個人情報保護と適正管理、住基カード発行の手数を市民に求めたもの。住基ネットは個人情報の漏洩など安全性への市民の不安の声も多い。個人情報保護法は制定されたが、個人情報に関する自己決定権を何ら保証するものではなく、未だ不十分。情報は一度盗まれたら元に戻らない。市は、個人情報の保護に不安があり、確証がないうちは遮断すべき。条例制定だけでセキュリティが確保されるわけではない。

ネットは国に対するメリットが一番大きい。市が市民に忠実であることとするなら、様子を見て納得した上で判断しても良かったはず。もう一つの問題は、外国人市民が対象外とされている点。カードに新たな市民サービス機能を加えれば加えるほど阻害されていく。時代の先端を行くシステムに基本的な権利に関する旧態依然の不平等が存在するのは大きな問題。

安全に不安のある市民が住基コードを変更するたび、カードを再発行しなければならぬのも疑問。自治体政府である市が市民の側に立ち、市民に不利益が多いと判断した場合は、法律に定まったものでも、様々な不安要素について国に問題提起するのは自治体の責務と考え反対。

#### 消費税増税に反対する意見書

賛成多数で可決  
元気派市民の会・賛成



【元気派の意見】経済不況が続いているなかで、消費税増税計画も論点になってきている。国民の福祉向上のために税問題は避けて通れないが、初めに増税ありきは疑問。まず政府は自らの税金の使い方を見直し、信頼に足る

財政運営を行い、事業を見直し改革を進めていくのが先決と考え賛成。

#### 電力の安定供給を求める意見書

賛成少数で否決  
元気派市民の会・賛成



【元気派の意見】原子力発電所の相次ぐ事故に不安を抱いている。夏期需要を根拠に再開を求めるのは危険。原発依存型から転換し、安全で安定的な電力の開発、確保に努めることと、夏の電力確保に原発に頼らない方策で対応するように求めた意見書に対し賛成。

#### 小学校の普通教室へのクーラー設置に国の財政支援を求める意見書

賛成多数で可決  
元気派市民の会・反対



【元気派の意見】政府に普通教室へのクーラー設置のための財政支援制度を創設するよう求めるものだが、子どものために何を優先課題として政府に求めているか、厳しい財政状況のなかでは慎重に検討すべき。一律ではなくクーラーの必要な教室、扇風機で対応できる場合、子ども年齢等も考慮し検討する必要がある

る。地球温暖化が進むなかで省エネルギー対策、脱原発等私たちの生き方も問われている時代に、私たちのまちは教育施設に対しどのように考えていくのかの議論が先決。即政府に財政支援を求める意見書には反対。

#### みとこの一言

議会には4つの常任委員会があります。私は建設・厚生・文教の各委員会を経験してきましたが、総務委員は初めてです。調布市議会では、他市では余り見られない審議形式を採用しています。それは予算・決算共、集中的に特別委員会で審議せずに、各委員会での分割審議を基本にしている点です。各委員会は同日開催され、市長以下三役はその委員会にも出席しません。従って、各委員会は事業内訳の審議が中心となり、収入である「歳入」に関わる審議は総務委員会に委ねられます。財政問題がクローズアップされている今、私が今回所属する総務委員会は財源確保の問題や政策決定について実質審議できる委員会です。今まで以上に調査し、学びながら、市民の声を市政に反映するように頑張ります。



調布長野県人会の二次会で、「信濃の国」をカラオケで大合唱。初めて、最後まで皆に教えられながら歌う。こんなに長い詩だったのかと感動した。(みとこ)

## 大河みとこは下記の委員会・審議会等の委員になりました

・総務委員（常任委員会）— 政策室、総務部、財務部、収入役、監査委員、選挙管理委員会の所管に関する事項、他の所管に属さない事項

委員長 - 伊藤義男さん（自由民主党）

副委員長 - 荻窪貞寛さん（公明党）

委員 - 土方長久さん・鮎川有祐さん（自由民主党）、漁 郡司さん（社民・民主チャレンジ会議）

宮本和実さん（自由党）、**大河みとこ（元気派市民の会）**

以上の7名で構成されています。

- ・調布市環境保全審議会委員
- ・調布市まちづくり推進本部参与
- ・市議会だより運営委員会委員
- ・調布市都市整備推進連絡調整協議会委員
- ・京王閣競輪場周辺環境対策連絡協議会相談役
- ・調布市議会議員会委員



## 現在の議会・会派（8会派）

自民党（11名）

公明党（5名）

社民・民主チャレンジ会議（5名）

共産党（3名）

グローバル調布21（1名）

自由党（1名）

生活者ネットワーク（1名）

元気派市民の会（1名）

### 《会派の控え室》

開かれた議会という視点からも、議会議務局を議会棟の入り口に移動する改修工事が計画されています。それに併せて議会図書室にパソコンを設置する事等から、会派控え室の見直し、特に一人会派の控え室が議員一人当たりの広さの公平という点から問題だ、との指摘があり、何回も会議が持たれました。2期8年間「元気派市民の会」は、政治的な主張が他の会派と異なる事から単独会派として活動してきましたし、個別控え室がありました。工夫すれば従来通り一人会派の控え室も個別に確保できると主張し、同様の意見も多数会派の方からも出されましたが、市民相談の部屋が欲しい、或いは議員一人当たりの面積の公平性をとの意見から、最終的には来年3月を目途に、一人会派の4名が合同の控え室に入ることに決定されました。ただし、電話は個別に配置されます。



### 議会改革

議長の諮問機関として、「議会改革」のための検討会が、議会運営委員長を座長とする「議会改革協議会」を設置する事になりました。各会派より議会改革案を提出し合い、会派数に応じたメンバー構成で月一回を目標に二年間検討し、決定した項目はできるだけ早く実行する事になりました。今後会報でもその経過をご報告致します。議会改革に対する市民の方からの声も受け止めながら「市民に開かれた民主的な議会」を目指し、努力していきます。皆様の議会改革への声をお寄せください。

次の議会は9月10日（水）頃開会の予定です。本会議の他に委員会も傍聴できます。委員会は一問一答で審議されます。9月議会は決算審議が中心になります。16年度予算に決算の結果・反省をどのように生かしていくのが大切な審議の場です。是非、傍聴ください。

詳しい日程等は議会議務局にお問い合わせください。（TEL0424-81-7291）

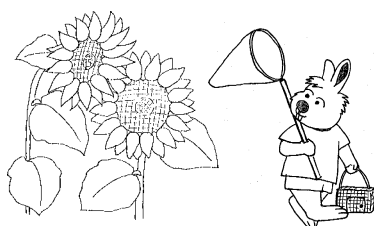


今年の七夕は雨だった。「一年に一度の出会いが叶わないなんて悲劇だね」と、娘との会話。「我が家で七夕飾りしなくなって何年になる？」と聞かれ、思い出せないのもちょっと悲しい。(みとこ)

みとこの活動日誌

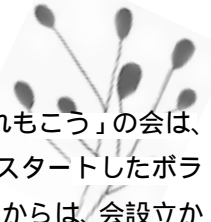


- 4月 7 北ノ台小入学式
- 8 神代中入学式
- 11 議会だより委員会
- 13 事務所開き
- 20-27 調布市議会議員選挙
- 5月 8 少人数学習導入検討委員会
- 13 ごみ懇談会傍聴
- 15 調布市ボランティアNPO支援センター開設準備協議会傍聴
- 17 栃木オンブズマン(宇都宮市)研究会講師
- 18 武蔵境通り住民協議会
- 20 環境保全審議会  
高齢者総合計画部会傍聴
- 22 自治体総合フェア2003(ビックサイト)
- 23 NGO問題報告(議員会館)
- 24 北ノ台小運動会
- 26 ノルウェー子ども大臣訪日記念講演会
- 27 商工会総会
- 29 調布市ボランティアNPO支援センター開設準備協議会傍聴
- 30 幹事長会
- 31 市川房枝記念会政治参画セミナー
- 6月 3 京王線鉄道用地跡地利用検討会傍聴
- 4 自治体合併説明会(東京自治会館)
- 6 代表者会議
- 7 環境フェア  
国際公会計学会合同部会
- 9 幹事長会
- 10 全員協議会
- 16 幹事長会
- 18-30 6月議会開会
- 21 調布まちづくりの会総会
- 29 武蔵境通り住民協議会



調布の福祉は今

「われもこう」の会を訪問して



7月10日に「われもこう」の会を訪ねました。「われもこう」の会は、菊野台地域福祉センター利用者を中心に、平成8年からスタートしたボランティアの方たちによるふれあいの場です。平成13年からは、会設立からのメンバーである柴崎在住の川上ヨシエさんが自宅を開放し、スタッフを含め24名で活動中です。参加者の平均年齢は70才、最高年齢は98才と聴いてびっくりしました。月2回第2,4木曜の12時から3時まで各自お弁当持参で食事をしたり、音楽、折り紙、おしゃべりなどしながら楽しい時間を過ごしています。

訪れた時は歓談中でしたが、「市政は最近どうなっているの」「住基ネットが心配」「柴崎駅の踏切はどうなる」「つつじヶ丘駅にエレベーターを」など、矢継ぎ早に鋭い質問を受けました。市政から子どもの問題まで、真剣に聞き、話す姿に私自身学ばせて頂きました。家庭的で自由な雰囲気の中、スタッフの手作りお菓子を頂きながら、個人の自宅という地域に開かれた場が持っている「市民力」と、生き生き暮らすためのきっかけづくりといった、これからの福祉の方向を見た気がしました。

「われもこう」の会に関心のある方は、川上さん(88-2431)までご連絡下さい。

傍聴記

私が市議会を初めて傍聴したのは、8年前、大河さんが新米議員としてデビューを飾った時でした。傍聴席もまばらでそのせいか、議員席は雑談や居眠り下品なヤジ、と将に市民常識とはかけ離れた、内輪の世界で働いているように見えました。それに比べて今年の議会は様変わりしていました。傍聴席も45人とほぼ満席で、居眠りする議員もいましたが、ほとんどの議員は大河さんと市長との真剣な論戦に聞き入っていました。ヤジを飛ばす議員に対して「質問中ですので静かに聞いてください」と大河さんの一声で、気迫に押されるように以後シュンとして声なしでした。逼迫する財政を初めとして、どこも地方議員は困難な問題に取り組まなければならない時期に直面していますが、市や議会が一番になすべき事は、問題点を明らかにして市民に提示することだと思います。「無所属、市民派」として登場した大河さんの存在理由は、あらゆる会派が反対しようと、調布で暮らす普通の市民にとって、そのことが良いことなのか否かという「一点」にあります。市長派だとか反市長派だとか云うことは、私達普通の市民にとっては関係ありません。

財政問題では問題を先送りしないで、直面する問題点を明らかにすれば、それによって利益を得ている人たちからは反発もあるでしょう。ゴミ処理場の問題について敗れて切り込んだのも、真剣に考えている議員なら避けて通れない問題です。問題点を指摘しみんなで真剣に考えていこうよ、みんな逃げないで、というのが責任ある議員の取るべき態度ではないでしょうか？いずれにしても「市民派大河議員」の登場は市議会を真剣な討論の場に返る契機になったのではないのでしょうか？議場を後にしながらこの8年間は決して無駄ではなかったんだと考えていました。

深大寺南町在住 依田輝男

追記 皆さん、市議会が面白くなっていますよ、傍聴に行きましょうね。

「来年はもう野菜は送れないな」と言っていた長野の父から宅急便が届きました。きゅうり、ナス、ズッキーニ、セロリなど、新鮮な香りに有難い親の愛情つきでした。感謝（みとこ）

## みとこの一般質問



安定財政の確保に一層の努力を  
ごみ問題に誠意ある取り組みを

大河みとこは、どの政党や特定団体にも属さない市民代表として二期目。暮らしやすいまちを市民自らの手で創っていきたくと考えています。そのためには市民と行政の情報共有と、協働のまちづくりが不可欠。この立場から大きく二点を質問しました。

まずは財政について。改定された実施計画には、市長が今後三年間で実現したい事業内訳が記されていますが、ここには、肝心の財政的裏づけが明らかにされていません。限られた財源で、全ての市民要望に応えることは不可能であり、行政は、何を基準に優先的に実行するかを、市民に説明する責任があります。行政運営の基本的な考え方を明確にして、具体的な作業を指揮できるのは市長だけです。十月に出される予算編成方針に合うように改定実施計画を見直す作業が必要です。市民に痛みを求めるだけでなく、できるだけ借金をしない安定財政運営と、行

政自らの一層の努力を求める立場から質問しました。

また、もう一点はごみ問題です。全市民の共通課題のごみ問題は全市民に理解されなくては前に進みません。ごみ処理の基本方針は、三鷹市と二市で全量共同処理するという点に変わりないか、市長の真意を問いました。

### 1. 改定実施計画実現には、財政の健全化計画と経営改革を伴った三位一体の取り組みを！

今ある改定実施計画は、「アクションプランの改定」や「経営改革」などが示されていないために、未完の状況。改定実施計画を早急に仕上げる作業が行政の最優先課題。

政策実現に財政確保は欠かせない。収入は確実な範囲で見込み、将来へ備えるのが大事。前提となる財政健全化計画の作成が急がれる。

自治体の財政の弾力性を判断する指標である経常収支比率と公債費比率を十四年度はどう見込んでいるのか。十五年度の徴収する賦課額の動向と今後三年間の財政見込みはどうか。また改定実施計画の計画期間内に予定している新規事業の具体的内容、

総事業金額と財源内訳は。

十六年度の予算編成方針に向け、財政健全化計画と経営改革プランの作成を前提とし、行財政改革アクションプランを改定するのか。基本となる市の考え方は何か。

改定実施計画はシステムが未整備のため、政策決定と事業費が一致した提案になっていない。政策と財務と事業担当が協議し、一つの方針を意志決定していくシステムが必要。庁内の具体的な政策論議と意志決定を行う経営会議を提案。

職員が事業に対してフルコストを認識するための研修と併せて、事業を提案する前提として行政コスト計算書を今後作成していく事が重要。事業見直しの基本的な考え方と見直しを予定している大型事業は何か。

京王線連立事業や、中心市街地の街づくり、職員退職手当など、予想される多額な財源確保のために、基金の充実をどう実現していくのか。今後十年間に必要なa、財政調整基金、b、退職基金、c、都市整備基金はどの位の額見込んでいるのか。ここ三年間どの位の額を、どう工夫して達成するのか。

【市長答弁】 必要な見直しは、従来の手法にとらわれることなく適宜適切に積極的に対応する。

【各関係部長答弁】

長期化した景気低迷の影響を受け悪化傾向。

十五年度とほぼ同水準。新規は十一事業、約四億円。財源は一般財源が国都からの支出金、他は一般財源。新たな骨格的方針を予算編成策定時期までに示す。

企画・実施・評価のマネジメントサイクルを確立し、次の施策に結びつける。

受益と負担の観点から取り組む。優先すべき課題は情報公開、中心市街地まちづくりの取り組みなど。計画されたが事業費が未計上の事業が五件。必要な見直しを行う。

目標額はa、四十億円、b、四十億円、c、八十億円。十五年度末の残高合計は六十億円。百億円差額がある。積み立ての必要性は認識するが、財源確保は難しい。必要な見直しで、積極的に確保する。



## 2 調布市のごみ処理は三鷹市と全量共同処理する基本的考え方に変更はないか

公共の課題であるごみ処理に対する市の基本的な考え方は何か。  
二枚橋衛生組合議会での市長の「三鷹市との共同処理が基本」という発言の真意は何か。

調布市と三鷹市が取り交わしている、ごみの共同処理を行っていく旨の「新」ごみ処理施設整備に関する覚書に対し、三鷹市の新市長は変更なく共通理解をしているのか。

ごみ処理共同検討委員会に市の基本的考えが伝わっていないために起きている混乱を、どう捉えているか。三鷹市とは覚書も交し、ごみ全量共同処理と改定実施計画にあるが変更はないか。



次の三つの場合のごみ処理施設の建設費用とそれぞれ十五年間のランニングコストは。

- ・二枚橋、三鷹市との共同処理を併用
- ・二枚橋衛生組合の構成員として施設を建設
- ・三鷹市と共同処理のみ

ごみ問題の市民への充分な情報公開と説明責任について、行政が市民と情報共有すべき課題は何か。特定地域への説明責任をどうするか。全市民への情報公開と説明責任をどう果たすのか。今後ごみ問題の全市民への説明会の予定は。

### 【市長答弁】

極めて重要だと認識している関係各市と調整が整っていない折、調布市だけでは判断不可。三鷹新市長と会い、その考えはいささかも変わっていないと伝えた。計画変更なし。検討委員会も継続考えに変更はない。  
課題は、ごみ処理施設整備は全市民共通問題と認識して取り組むこと。特定地域への適切な情報公開と対話を私自身先頭に立って進めていく。  
【環境部長答弁】  
一定の共通認識が得られたと理解。大型施設建設費は安く、ランニングコストは一カ所運営が安い。

納得できる答弁が得られなかったの  
で、次の点を再度質問した。

財政問題では、改定実施計画は柔軟に見直しをしていくということが、アクションプランの指針となるものは。また、事業費を見込んでいない新規五事業とは何か。今後の市税収入の見込みを十五年度と同水準にした根拠は何か。基金の目標額は変更になるのか。

ごみ問題では、新ごみ処理施設の計画は、全人口全市民が対象のごみということでのよいのか。また、二枚橋組合議会では、何を調整して判断しようとしているのか。そして、適切な情報公開と住民との対話を、先頭を切つてというの具体的な、時期はいつ頃。検討委員会の中の共通認識とは。

### 【市長答弁】

改定実施計画は柔軟に見直す。ごみ問題は、三鷹市と全量共同処理が有力な選択肢と承知。他の関係市と調整し早期に結論に導く。組合議会では、二枚橋に残るように要請されているわけではない。特定地域の一部の人は意見交換した。率直な意見交換を積み上げないと先へ話は進まない。今後も必要に応じ、その機会を設けさせて頂きたい。

【各関係部長答弁】アクションプランの指針は、中長期の財政見通しを立て状況に応じ検討せざるを得ない。新規五事業とは、中学校給食の充実・教育センターの設置・音楽芝居小屋のあるまちづくり・市民活動支援センターの設置・仙川駅自転車等駐車場の整備。市税収入見込みの同水準は妥当と考えるが、今後は十分な留意が必要。基金目標額の変更もあり得る。ごみ検討委員会では、共同処理前提で新ごみ処理施設について検討中。

以後、曖昧な答弁に対し再々質問。再々々質問を行い、新規に見直すのは事業費が未計上の五事業他とわかった。公約である大胆な財政改革のために具体的な作業を指揮できるのは市長だけだ。調布市のごみ処理は三鷹市と共同処理する方針という市長の公式見解を重く受け止めた。ごみ行政に対する市長の考えを、広く地域住民に伝えて欲しいと要望。全市民の共通課題のごみ問題は、全市民に理解されなくては前進しない。市長の陣頭指揮で、市民利益という視点から、最善の方法を議会も模索し、共に努力する事を表明し質問を終えた。

若い世代の議員仲間が増え、議会の雰囲気も変わりました。ただ残念なのは九名だった女性議員が五名に減ってしまった事です。女性の政治参画も大きな課題です。(みとこ)

選挙ではいつもビートルケースに立って演説。今回リユニオナルされたお立ち台は濃いピンク。元気派のマスコット「みみ太」が貼られて一週間活躍。本人よりも目立ってたとか。(みとこ)

選挙運動費用の報告

項目	金額(円)	備考
人件費	0	すべてボランティアの活動のため
家屋費	24,000	駐車場代
通信費	92,870	電話レンタル代、通話料
交通費	10,143	
印刷費	448,266	公選はがきと選挙ポスター印刷費
広告費	0	看板は前回のもを使用したため
文具費	33,159	両面テープ、ハンドマイク電池代ほか
食糧費	26,447	選挙期間中の食事代など
雑費	48,436	バッテリー充電、雨具など
合計	683,321	

選挙資金には、皆さんからの寄付やポスターなどの公費負担金などを充当しました。諸事再利用・手作りの効果で経費節約できました。



選挙期間中は街頭演説に全力投球！！

大河みとこ三期めへの挑戦

4月の調布市議会議員選挙は、28の議席に対し33名が立候補。ポスターの作成から掲示の手配、公選はがきの送付、電話でのお願い、選挙カー作り、運転手・ナビゲータ・うぐいす嬢(?)の手配、そして運行ルート作成、事務所でのいろいろ。数ヶ月前から仲間たちみんなで時間をやりくりし、準備しました。

「応援団のあり方が議員の質を表す。“どういう選挙をしたか”で当選後の活動が決まる」市川房枝記念会常務理事の山口みつ子さんの言葉を肝に銘じて臨みましたが、積極的、自主的にかかわっている男性陣と若い世代の支援が今回は特に光っていました。

私たちにできることは、話を聞いてもらって一人でも多くの方に理解・支援してもらうこと。選挙中は、市内のいたるところで演説をし、結果は2,585票を得て7位当選。

貴重な1票を投じてくださったすべての人に、感謝の気持ちでいっぱいです。これからの4年も、大河みとこ、そして元気派市民とみとこの会は真摯に進んでいきます。

ありがとうございます、そして変わらぬご支援をどうぞよろしく！

元氣派ひろば

次の議会は九月十日頃からの予定です。是非傍聴に行きましょう。  
詳しくは議会事務局にお問い合わせ下さい。  
(TEL)0424-81-7291



元氣派ミーティング (議会報告会)

8月8日(金)19:00~20:30

深大寺地域福祉センター第1集会室



伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方に配っていただけの方を募集しています。事務所までご連絡下さい。

TEL0424-88-4137

Eメール

gekika@ops.dti.ne.jp

7月26日(土)~8月24日(日)元気派市民とみとこの会事務所は夏休みとさせていただきます。

元気派市民とみとこの会の事務所は毎週月・火・木・金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話ください。

編集後記

調布に住んで14年、元気派の仲間との付き合いも10年に手が届く。この街で得た一番の宝もの。(ちえみ)

私にとっても3回目の新たな4年がスタートした。年々深みにはまっていって、きつと老後は楽しいはず。(ちはる)

よく「簡素化」って聞くけど、面倒くさい程じっくり取り組まなければならぬことってあるよね。(まさこ)

国会から聞こえてくる女性の人権を否定した発言に異議あり。個の尊重の前提は男女平等社会です。少子化を招いている一因は、自己実現に不安のある社会かも。(みとこ)

元氣派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!  
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。  
口座番号 00180-5-577951  
加入者名「元氣派市民とみとこの会」

「みみちゃん」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。

次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他



古紙配合率100%再生紙を使用しています。